

## 第5回 台東区区民憲章策定区民会議 議 事 概 要

日時：平成18年5月25日（木）19～20時45分

場所：台東区役所1001会議室

### 次 第

#### 1 議事概要確認

#### 2 議事

##### （1）報告事項

子どもアンケートについて（資料1）

各グループにおける区民憲章の全体像について（資料2）

##### （2）審議事項

区民会議全体における区民憲章の全体像について

・ 本文について（資料3 - 1、3 - 2）

・ 前文について（資料4）

草案作成グループについて（資料5）

##### （3）その他

次回日程について

区民憲章策定後の推進活動について

### 配布資料

第5回 台東区区民憲章策定区民会議次第

資料1 台東区子どもアンケート

資料2 グループ会議における提案、検討内容の整理表

資料3 - 1 本文の方向性のイメージ整理表（事務局案）

資料3 - 2 本文の方向性のイメージ文案（事務局案）

資料4 前文の方向性のイメージ整理表（事務局案）

資料5 台東区民憲章 草案作成グループ（案）

参考 台東区民憲章アンケート集計結果（抜粋）

### 議事概要

#### 懸田会長

- ・ 事前配布されていた前回の議事概要について、何かご意見はありますか？問題がなければ、近日中に区のホームページに掲載させていただく。

（意見なし）

( 1 ) 報告事項

子どもアンケートについて

各グループにおける区民憲章の全体像について

( 、 ともに特に意見なし )

( 2 ) 審議事項

区民会議全体における区民憲章の全体像について

. 本文について

- ・ 最後の柱は、「家族」「子育て・教育」「いきがづくり」でそれぞれに意味が異なるので、五か条を超えてしまうが、3つの柱に分けて示した方がよい。
- ・ 柱立ての議論は、論理・概念の整理だけで集約することは難しい。草案作成グループでの言葉づくりを全体会にフィードバックしてもらってから改めて検討した方がよい。
- ・ 2つのグループから「誓い」という表現が出てきているが、「誓い」には、請願的な意味合いも含まれているため、「約束」「希望」などの柔らかい表現がよいと思われる。本文の内容は、他にも言葉のリズム、韻なども踏まえる必要があるため、全体の文章の流れの中で議論した方がよい。
- ・ 第3グループが「盛り込みたい言葉」として提案している「きずな」は、台東区の姉妹提携都市が、台東区と姉妹都市を結ぶ理由として必ず挙げられている言葉である。「きずな」は、他都市が台東区にあこがれている側面を表しているとも言える。また、昨今の社会の乱れは、「きずな」の崩壊が原因だとも言われており、是非、憲章本文に盛り込んでほしい言葉である。

. 前文について

- ・ 固有名詞としての地名の表現には反対の立場である。草案作成グループでは、議員委員の意見も尊重してほしい。
- ・ 芭蕉の句にある「上野・浅草」は単なる地名ではなく、江戸時代の文化を一番上手く表しているシンボリックな言葉だと思う。草案作成グループが前文を作成する際は必ず苦労するはずである。現時点で、引用する、引用しないといった縛りかけるのではなく、草案作成グループに判断を委ねた方がよい。「上野・浅草」という表現は、地名だけの表現と捉えないで頂きたい。
- ・ 「上野・浅草」は、野球チームの打順で言えば3番、4番のホームラン打者に例えることができ、台東区の中で突出した存在である。芭蕉の句を引用して強烈にイメージを植えつけた方がよい。
- ・ 石川啄木や正岡子規などの句でも上野が表現されているが、芭蕉の句ほど上手く上野・浅草を謳ったものがない上に、芭蕉の句は、全国的にみても知名度が高い。また、どの自治体の憲章をみても同じような表現が多く個性が感じられないので、芭蕉の句を引用

すると特徴が出るのではないか。必ず引用しなければならないということではないが、文案を練る過程で全体のまとまりが出るのであれば、引用した方がよい。

- ・ “「芭蕉」＝「上野・浅草」”というイメージがあるようだが、樋口一葉の「たけくらべ」の中にも台東区をイメージできる表現があるのかもしれない。基本的には、引用には反対の立場だが、盛り込む場所が本文でなく前文ということであれば、必ずしも反対という立場ではない。

#### <三輪副会長より>

- ・ 前文には2つ重要な意義がある。1つは、区の内側に向けた意義として、自分たちが住んでいるところがどのような場所なのか自覚できる契機になるということである。2つ目は、区外の人にも、台東区をアピールすることができることである。
- ・ なぜ区民憲章には前文を付けるのか、なぜ前文が必要なのか、という観点から検討を進めて頂きたい。
- ・ 学校の校歌にも「隅田川の流れ」というフレーズが入っているものが多く、長野県歌にもお国自慢が入っている。全く地名を使わない訳にはいかないのではないか。また、樋口一葉の文章に謳われている内容は既に現在みられなくなっている。そうした場合、江戸時代の文化を表す言葉としては、芭蕉の句は的確である。本文に至る流れの中で必要だと判断すれば引用すればよいし、不要と判断すれば引用しなればよい。また、これまでの議論は名詞表現が中心で、形容詞についての議論が不足している点も考慮していく必要がある。
- ・ 芭蕉の句がよい句に思えたのは、郷愁の思いが強かったからである。外部の人にとって、台東区がどのような場所であるかを説明する表現として適切かどうかは、改めて考えていく必要がある。
- ・ 資料4に、「まちづくりの基本的な考え方」という表現があるが、ハード分野を思い起こさせるので違和感がある。もっと自由な気持ちや柔軟性のある発想を受け入れるような表現が望ましい。

(事務局) 資料で表現している「まちづくり」という言葉は、都市計画分野の狭義のまちづくりだけでなく、区民の「願い」「思い」を含む広い意味での言葉として捉えている。

- ・ 区民憲章には、具体的な地名や固有名詞は使わない方がよい。なぜなら、多くの人に共感してもらえる区民憲章をつくるためには、たとえインパクトに欠ける側面があっても、抽象度が優先されると考えるからである。上野、浅草そのものが大事なのではなく、上野、浅草が持っているイメージこそが伝えたい思いである。それらは、固有名詞を使わなくとも抽象的な言葉で表現できるのではないか。また、「まちづくりの考え方・理念」といった固い表現では、子どもたちに受け入れてもらえないので、例えば「未来の台東

区への思い」など柔らかい表現の方がよい。

- ・ 前文は、台東区の沿革である。局地的な話に終始しているが、本文を引き立たせる沿革とは何かといった視点から検討すべきである。
- ・ 「上野・浅草」という表現は、点（地名）ではなく面で捉えるべきである。「下谷・浅草」という旧名称を総称したものが台東区であるが、「上野・浅草」の方が全国的にも「台東区」より知られており、伝わりやすい。江戸時代、全国で十数しかなかった時の鐘が、台東区では上野、浅草の2箇所にあったそうである。上野の鐘は、徳川のお墓があったので「追い出しの鐘」のイメージがあり、浅草の鐘は遊郭があったので、「また来てください」というイメージを持っていたそうである。前文、本文を切り離すとどの区の憲章かわからない表現となるのが最も懸念されるので、切り離しても台東区をイメージできる表現を残してほしい。
- ・ 憲章は、抽象度の高い短い文章にまとめるため、何かしらの説明文が必要である。そうすることにより、理解度も高まるのではないか。
- ・ 説明が必要な憲章はよくない。短い文章であってもわかりやすい表現にすべきである。
- ・ 本日の議論を十分に理解された上で、草案作成グループにお任せしたい。

< 垣内副会長より >

- ・ 実際に文案を作成する際は、ある程度の自由度があることが大切である。その上で、草案作成グループにおける検討結果を、全体会にフィードバックすることが重要である。
- ・ 台東区外の住民から見れば、上野・浅草や隅田川といった様々なイメージを喚起させる表現を持っていることは強みである。個人的には、そうした強みをわざわざ規制する必要はないと考える。
- ・ 憲章の説明文章が必要かどうかは、憲章作成後の次のステップの議論と直結するのではないか。草案作成グループの議論と並行して、区民憲章策定後のステップで何を行うのかについてそろそろ合意形成が必要である。

懸田会長

- ・ 検討課題1、2については、本日の議論を踏まえ草案作成グループにて検討したい。検討課題3についてはこうした内容が必要である、ということをご理解頂いたものとする。

草案作成グループについて

(異議なし)

(3) その他

次回日程について

懸田会長

- ・ 次回全体会は、6月28日(木)19時～に開催することとする。

区民憲章策定後の推進活動について

懸田会長

- ・ 草案作成グループの活動が進んでいる間に、草案作成グループ外の委員を中心として、策定後の活動について検討してはどうか、という提案があった。
- ・ 新しく台東区に越してきた若い世帯でも、町会活動をよく知っている方もいる。こうした点も踏まえ、今後も町会活動に取り組んでいきたい。

<三輪副会長より>

- ・ 台東区の活動のベースとなっているのは町会であると考え。これまでは区民憲章策定後に、誰が、どこから、どのように活動していくのか、についての議論が不足していたので、次回全体会までに、具体的な活動に結びつくようなご提案を出してほしい。

以上